

情報通信工学コース 教授 石井 好

[2] 学会講演・研究発表

- 1) 倭国は古の倭奴国也, 日本情報考古学会 (25 回大会), 2008. 3. 22, 共立女子大学
- 2) 纏向石塚古墳の疑問 同上
- 3) 破局の理論 同上
- 4) 数理考古学Ⅱ, 日本数学教育学会 90 回総会特集号, 2008. 8. 1, 福島大会
- 5) 古代年代論の証拠, 数理科学講演会, 東京電機大学工学部, 2008. 8. 30

[4] 編・著・訳書等

東アジアの古代文化, 纏向遺跡の最古の木製仮面の不思議, 136 号, 2008 年 夏, 共著,
pp. 335-342, 大和書房

[6] 一般学会活動

数理科学会, 評議員

情報通信工学コース 教授 生方 俊典

[3] 解説・寄書・記事・研究ノート

生方, 石山, 両角, 椎名: 「除電システムの開発」, 実践教育, pp. 49-52, 2009 年 3 月

[4] 編・著・訳書等

共著, 「徹底解説本試験問題エンベデッドシステムスペシャリスト」, ITEC, 2009 年 1 月

[6] 一般学会活動

実践教育訓練研究協会 電気・電子・情報系専門部会 常任幹事 (編集委員長)

情報通信工学コース 教授 齋藤 敏治

[1] 研究論文

- 1) The Tibet ASy Collaboration, “The energy spectrum of all-particle cosmic rays around the knee region observed with the Tibet-III air-shower array”, *Advances in Space Research*, **42**, 467-472 (2008)
- 2) The Tibet ASy Collaboration, “The all-particle spectrum of primary cosmic rays in the wide energy range from 10^{14} eV to 10^{17} eV observed with the Tibet-III air-shower array”, *The Astrophysical Journal*, **678**, 1165-1179 (2008)
- 3) The Tibet ASy Collaboration, “New Estimation of the Spectral Index of High-Energy Cosmic Rays as Determined by the Compton-Getting Anisotropy”, *The*

Astrophysical Journal Letters, **672**, L53-L56 (2008)

[2] 学会講演・研究発表

- 1) 山本昇志, 吉村 晋, 鈴木 弘, 齋藤敏治: 「創造的グループワークによるプログラミング教育の実践」平成20年度 国立高専 情報教育研究会, 一関高専, 2008.8
- 2) 吉村 晋, 山本昇志, 鈴木 弘, 齋藤敏治: 「ソフトウェア創造実習におけるグループ学習の推進」, 情報処理学会, 2009.3, 滋賀

[7] 海外研修

ニュージーランド Mt.Jhon 天文台 MOA プロジェクト観測業務 (科研費)

2008年8月9日から8月30日 (22日間)

[9] 文部省科学研究費補助金に関わる活動

阿部文雄 (名古屋大学 太陽地球環境研究所), 齋藤敏治 (研究分担者): 基盤研究 (A): MOA II 1.8m望遠鏡によるマイクロレンズ事象の探索

情報通信工学コース 教授 鈴木 弘

[2] 学会講演・研究発表

- 1) 山本昇志, 吉村 晋, 鈴木 弘, 齋藤敏治: ” 創造的グループワークによるプログラミング教育の実践”, 高等専門学校 情報処理教育研究発表会, 第 28, pp183-186, 2008.8
- 2) 吉村 晋, 山本昇志, 鈴木 弘, 齋藤敏治: ” ソフトウェア創造実習としてのグループ学習の実践”, 情報処理学会 全国大会, 6A-2, 2009.3
- 3) 鈴木弘: ”GPS 付き携帯写真の位置補正に関する一試案”, 電子情報通信学会 総合大会, 2009.3

情報通信工学コース 教授 吉村 晋

[2] 学会講演・研究発表

- 1) 山本昇志, 吉村 晋, 鈴木 弘, 齋藤敏治: 創造的グループワークによるプログラミング教育の実践, 高等専門学校情報処理教育研究発表会論文集, 第 28 号, 2008-8
- 2) 上木 悠司, 伊東 信行, 吉村 晋: イベント会場における混雑情報提供に関するマルチエージェントシミュレーション, 数理科学会第 27 回数理科学講演会, B403, PP71-72
- 3) 戸笈 広大, 吉原 豪謙, 大瀧 和哉, 吉村 晋: マルチエージェントにおける多段的な協調動作, 第 7 回情報科学技術フォーラム (FIT2008) 講演論文集 F-032, 2008-9
- 4) 吉村 晋, 山本昇志, 鈴木 弘, 齋藤敏治: ソフトウェア創造実習におけるグループ学習の推進, 情報処理学会第 71 回全国大会, 6A-2, PP. (1-215)-(1-216), 2009-3

[6] 一般学会活動

- 1) 電子情報通信学会 ソサエティ論文誌査読委員
- 2) 情報処理学会 教育委員会 高専教育委員会委員
- 3) 全国高等専門学会 プロコン委員

情報通信工学コース 教授 若林 良二

[2] 学会講演・研究発表

- 1) 中村智博, 若林良二, 高崎和之, 中台章: “Global Antenna Server を用いた流星電波観測”, 第 27 回数理学講演会, B104, 2008
- 2) 有馬卓司, 若林良二, 川上春夫, 佐藤源貞: “FDTD 法を用いたヘルツの電磁波確認実験の解析—定在波による波長の確認—”, 第 27 回数理学講演会, B203, 2008
- 3) 若林良二, 藤木雄大, 梅原直也, 長澤正氏, 椋本介士: “流星バースト通信実験局設置のための調査—都城高専にて—”, 第 27 回数理学講演会, B401, 2008
- 4) 藤木雄大, 若林良二, 長澤正氏, 椋本介士: “産技高専における流星バースト通信システムの構築”, 電子情報通信学会東京支部第 14 回学生会研究発表会, 76, 2009
- 5) 滝沢圭祐, 町井隆, 石川智浩, 高崎和之, 若林良二: “超小型人工衛星 KKS-1 の管制局構築”, 電子情報通信学会東京支部第 14 回学生会研究発表会, 77, 2009
- 6) 善養寺薫, 梅原直也, 椋本介士, 若林良二, 長澤正氏: “国内における流星バースト通信網観測システムの概要”, 電子情報通信学会 2009 年度総合大会, B-2-58, 2009

[6] 一般学会活動

電子情報通信学会論文査読委員

[7] 文部省科学研究費補助金に関わる活動

長澤正氏 (沼津工業高等専門学校), 若林良二 (研究分担者): 基盤研究 (C): 南極域と中緯度地域における流星バースト通信路の特性比較

[11] 受託研究 (共同研究)

長澤正氏, 若林良二: オホーツク海域環境情報収集システムの開発, 北海道大学 低温科学研究所

情報通信工学コース 准教授 高野 邦彦

[1] 研究論文

- 1) 高野邦彦, 野口幹容, 甲谷佑太, 宝地戸俊介, 藍天, 佐藤甲癸, 武藤憲司: “動画ホログラムの無線伝送に関する基礎検討”, 画像電子学会誌 vol. 37, No. 5, pp645-650, 2008-09

- 2) 武藤憲司, 伊藤幹也, 荒井貴大, 高野邦彦, 八木一夫, 江口健太郎, 柴山秀雄, 陳国躍 :
“MR I 検査室内における音響インテンシティ測定”, 信学論, vol. J91-A, No. 11,
pp. 1098-1101, 2008
- 3) 田中淳, 高野邦彦 : “インターンシップの事前・事後指導と企業ニーズ”, 経済教育,
27号, pp. 67-76, 2008-12.
- 4) Kohei FUJIWARA, Atsushi TAKETANI, Motohiko KAWASHIMA, Maki
KUROSAWA, Yoshiyuki ONUKI, Miki KASAI, Yasuyuki AKIBA, Ryo
ICHIMIYA, Hideto EN'YO, Takeo KAWASAKI, Shizui WATANABE, Kunihiko
TAKANO, Eric J. MANNEL, Charles PANCAKE, Eugene SHAFTO, Nicole
APADULA, Olivier DRAPIER, Raphael Granier de CASSAGNAC, Frank GASTALDI,
Simon CHOLLET, and Ermias T. ATOMSSA, "Fine Pitch and Low Material Readout
Bus for the Silicon Pixel Detector in the PHENIX Vertex Tracker", IEEE
TRANSACTIONS ON NUCLEAR SCIENCE, Vol. 56, No. 1, 2009 (2009-02).

[2] 学会講演・研究発表

- 1) 高野邦彦, 宝地戸俊介, 甲谷佑太, 野口幹容, 藍天, 佐藤甲癸, 武藤憲司 : 水粒子スクリーンを利用したホログラフィ立体投影像の特性改善について, 3次元画像コンファレンス 2008 講演論文集, P-5, pp. 103-106, 2008
- 2) 高野邦彦, 野口幹容, 甲谷佑太, 宝地戸俊介, 藍天, 佐藤甲癸, 武藤憲司 : ホログラフィ立体動画像の伝送特性の検討, 画像電子学会第 36 回年次大会, R1-1, 2pages (DVD-ROM), 2008
- 3) 藍天, 瀧本幸男, 佐藤甲癸, 高野邦彦 : 計算機合成ホログラフィデータの白色 LED 光空間伝送の検討 II, P-3, 2pages (DVD-ROM), 2008
- 4) 武藤憲司, 高野邦彦, 八木一夫, 江口健太郎, 柴山秀雄, 陳国躍 : MR I 検査室内の音響インテンシティ計測について, 日本騒音制御工学会秋季研究発表会講演論文集, 2-3-02, pp. 189-192, 2008
- 5) 武藤憲司, 高野邦彦, 八木一夫, 江口健太郎, 柴山秀雄, 陳国躍 : MR I 検査における駆動時の音響インテンシティ計測について, 電子情報通信学会ソサイエティ大会, A-10-3 [CD-ROM], 2008
- 6) 武藤憲司, 高野邦彦, 八木一夫, 江口健太郎, 柴山秀雄, 陳国躍 : MR I 検査室内の駆動音の解析, 日本音響学会秋季研究発表会講演論文集, 2-R-21, pp. 1099-1100, 2008
- 7) 武藤憲司, 高野邦彦, 八木一夫, 江口健太郎, 柴山秀雄, 陳国躍 : MR I 検査における検査テーブル上の音響インテンシティについて, 電気関係学会東北支部連合大会, 2B19, p. 79, 2008
- 8) 砂原一茂, 川田源太, 山越幸太, 高野邦彦, 佐藤甲 : “新しいホログラフィ立体画像の投影法について”, 第 25 回数理科学会講演論文集, pp49, 2008-08
- 9) 秋谷健太郎, 高野邦彦, 武藤憲司 : “骨伝導音と気道音のラウンドネス比較の周波数特

- 性”，第25回数理科学会講演論文集，pp51，2008
- 10) 遠藤嵩哉，福澤淳夫，浅野寛昭，高野邦彦，佐藤甲癸：“ホログラフィ立体映像の画質評価”，第25回数理科学会講演論文集，pp53，2008-08
 - 11) 高野邦彦，甲谷佑太，野口幹容，宝地戸俊介，藍天，佐藤甲癸，武藤憲司：“ホログラフィック 3D 画像伝送のための基礎検討”，電子情報通信学会ソサイエティ大会，B-15-7，2008
 - 12) 田中淳，高野邦彦：“インターンシップにおける学生・企業間のミスマッチの研究”，経済教育学会第24回全国大会，2008
 - 13) 山越幸太，川田源太，砂原一茂，高野邦彦：“視域拡大型ホログラフィック 3DTV の検討”，182，信学会東京支部学生会，2009
 - 14) 戸塚真隆，佐藤甲癸，藍天，湯山健，高野邦彦：“複数のWebカメラからの実写入力による，リアルタイム動画表示を目指した計算機合成ホログラフィに関する検討”，映情学技報，vol.33，no.14，AIT2009-63，pp.41-44，2009
 - 15) 武藤憲司，高野邦彦，江口健太郎，八木一夫，柴山秀雄，陳国躍：“MRI装置のボア内の音響インテンシティ分布について”，日本音響学会春季研究発表会，3-7-4，pp.1015-1016，2009
- [6] 一般学会活動
- 1) 三次元画像コンファレンス 2008 実行委員
 - 2) 映像情報メディア学会立体映像技術研究会幹事
- [8] 国際学会・国際会議等
- 1) Muto Kenji, Ito Kan-ya, Arai Takahiro, Takano Kunihiko, Yagi Kazuo, Eguchi Kentaro, Shibayama Hideo, Chen Guoyue, "Report of measurement result of sound intensity of MRI examination room", Inter-Noise 2008, Shanghai, China, 26-29 Oct., 2008.
 - 2) K. Takano, Y. Kabutoya, M. Noguchi, S. Hochido, T. Lan, K. Sato, K. Muto, "Evaluation of the Quality of CGH for the 3D Transmission under Narrow Frequency band, Proc. of IWAIT2009, 2009.
 - 3) Koki Sato, Kunihiko Takano, Makoto Ohki, "Large Viewing Angle Walk Through Type Display Using Smoke Screen", Proc. of IWAIT2009, 2009.
 - 4) Koki Sato, Kunihiko Takano, Makoto Ohki, "Large viewing angle and image size projection type electro-holography using 3-D screen", Proc. of SPIE7233(7233-43), 2009.

[2] 学会講演・研究発表

- 1) 吉村晋, 山本昇志, 鈴木弘, 齋藤敏治:” ソフトウェア創造実習におけるグループ学習の推進”, 第 71 回情報処理学会全国大会予稿集, Now printing, 2009.3, 滋賀
- 2) 瀧圭亮, 山本昇志, 津村徳道, 中口俊哉, 三宅洋一: “カラーインバリエントな特徴点抽出を用いた複数カメラ出力の自動マッチング”, Optics & Photonics Japan 2008, pp. 100-101, 2008. 11. 4, 筑波
- 3) 上三垣さゆり, 瀧圭亮, 平井経太, 山本昇志, 津村徳道, 中口俊哉, 三宅洋一: “照明変化に対応した CIECAM02 によるプロジェクタ投影像の補正”, Optics & Photonics Japan 2008, pp. 96-97, 2008. 11. 4, 筑波
- 4) 山本昇志, 吉村晋, 鈴木弘, 齋藤敏治: “創造的グループワークによるプログラミング教育の実践”, 第 28 回高専情報処理教育研究会, Now printing, 2008.8, 一関

[4] 編・著・訳書等

画像電子学会編「カラーマネージメント技術-拡張色空間とカラーアピランス」, 15 章分筆, 東京電機大出版, ISBN978-4-501-32660-9, (2008)

[6] 一般学会活動

- 1) 日本写真学会 論文査読員
- 2) 所属学会: IS&T, 画像電子学会, 日本光学会, 映像情報メディア学会

[8] 国際学会・国際会議等

- 1) Shoji Yamamoto, Sayuri Kamimigaki, Norimichi Tsumura, Toshiya Nakaguchi, Yoichi Miyake, “Fast hand recognition method using limited area of IR projection pattern”, Proceedings of SPIE, Vol., pp.(Now Printing), San Jose, USA, (Jan, 2009).
- 2) Sayuri Kamimigaki, Keisuke Taki, Keita Hirai, Shoji Yamamoto, Norimichi Tsumura, Toshiya Nakaguchi, Yoichi Miyake, “Compensation for Projected Image Under Dim Illumination with CIECAM02”, The 4th European Conference on Colour in Graphics, Imaging, and Vision (CGIV'2008), p.331, Barcelona, (June, 2008).

[9] 文部省科学研究費補助金に関わる活動

山本昇志: 基盤研究 (C): 視覚感性に基づく判断基準の情報化研究 (2008-2011 年度)

[10] 特許

山本昇志: 平成 20 年度中国地方発明表彰 発明奨励賞, 2008 年 10 月 20 日